

## 八丈島 (東京都八丈町)

レジリエント・スマートで魅力と安全安心が発信できる島づくり

【概要】 島内人口(H27)：7,613人

**島の課題**

- 集中豪雨等による土砂災害等の災害発生リスクが高く、想定津波高が18m超地区の南海トラフ地震防災対策推進地域である。
- 高齢化、地域防災の担い手不足・避難弱者の増加での災害対応人員の負担・リスクがある。
- 観光客が安心して来島可能な「災害に強いレジリエントな八丈島」の実現が必要。



### 調査体制

推進 コンソーシアム	八丈島スマートアイランド
	日本工営株式会社(代表団体)
	東京都八丈町
	応用地質株式会社
	みずほグループ ・株式会社みずほ銀行 ・みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社 ・株式会社Blue Lab

### 主な取組概要 情報の組合せ活用による島の強強化

- リスクを一元把握できるデータ基盤の整備
  - ①センサ・カメラ等データの一元管理
  - ②リアルタイム把握可能な共有プラットフォーム
  - ③出水期における実践と社会実装・横展開の実証
- データ基盤を活かした情報発信技術の検討
  - ①災害対策の技術を日常でも有効活用できる方策の検討と実証実験を実施
- 横展開を実現するためのガイドラインの検討
  - ①R3-4で社会実装する八丈島防災を横展開するガイドライン(素案)を検討、提案資料として作成

### 目指す姿・期待する効果

『レジリエント・スマートで魅力と安全安心が発信できる八丈島』の実現



- 災害リスク情報の一元把握の実証により防災力の強化が図られる。
- 町役場職員の負担軽減だけでなく、島民や観光客にも有益な情報を発信できる。

## 答志島、神島 (三重県鳥羽市)

ICT技術を活用した離島のサービス付き高齢者向け住宅化構想

【概要】 島内人口(H27)：1,975人(答志島)/348人(神島)

**島の課題**

- 相互扶助の精神に基づき、地域コミュニティが維持されているが島民の人口減少や高齢化が著しく進み、島民同士のつながりの希薄化・閉じこもりがちな高齢者が増えている。
- 離島環境下では診療所内に備蓄できる医薬品は限られており、診療所に備っていない医薬品を処方してもらうため本土へ渡航し医薬品を受領することが、島民にとって時間的・費用的に大きな負担となっている。



### 調査体制

TRIMet 推進協議会	セコム医療システム株式会社(代表団体)
	鳥羽市
	公益社団法人 志摩医師会
	一般社団法人 鳥羽志摩薬剤師会
	セコム株式会社

### 主な取組概要

- R2年のスマートアイランド実証調査以降進めるTRIMetバーチャル鳥羽離島病院構想の一環にて、離島の各住居をサービス付き高齢者向け住宅と見立てた実証実験を行う。
  - 生活支援体制や医療介護の体制を充実させ、離島の高齢者を孤立させない取り組みを調査する。
- ※TRIMetについて  
→Toba Rural area & Island Medical teamの略称

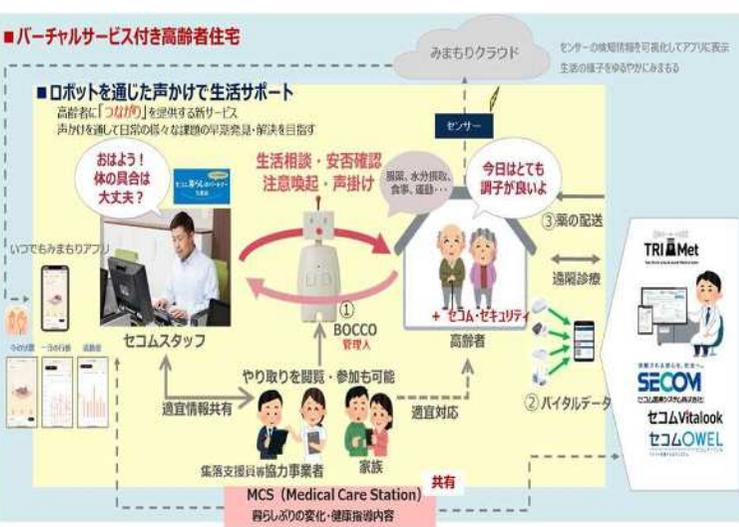
### 目指す姿・期待する効果

●ICTを用いた島内サービス付き高齢者向け住宅化

ロボットを管理人と見立てて、離島の高齢者宅へ設置し高齢者の暮らしに寄り添うことで生活相談や安否確認サービスを提供する。

●医療介護体制の充実

ロボットの声掛けを通して、オンライン診療の質の向上・オンライン服薬指導の充実を図る。医薬品の個人宅配送を実施し、本土と変わらない医療介護体制を構築する。



ロボット (BOCCO) による見守り体制イメージ